

【抗議声明】

2016年9月9日

**北朝鮮の5度目の核実験に断固抗議する。北朝鮮は、核開発及び弾道ミサイル発射を即時中止し、核兵器のない世界と朝鮮半島の非核化のために誠実に努力することを強く要求する。**

原水爆禁止神奈川県協議会

理事長 片野 憲二

横浜市中区野毛町 2-16 大澤屋ビル 4 A

TEL 045 (231) 6284

北朝鮮は、9月9日午前9時30分頃(日本時間)、今年の1月につづき5度目の核実験を強行した。北朝鮮のこの暴挙は、「すべての核兵器及び核計画を放棄」し、これ以上の核実験中止を求めた国連安全保障理事会(国連安保理)の一連決議(2087, 2094, 2270)に真っ向から反するものである。また、核兵器廃絶を願う国際世論と被爆国日本の国民の核兵器廃絶の願いに背き、国際社会への重大な挑戦でもある。原水爆禁止神奈川県協議会は、今回の北朝鮮の核実験に断固抗議する。

この間、国連安保理は、北朝鮮による核実験と弾道ミサイル発射に対して、「制裁措置を大幅に追加及び強化する」一連の決議を採択し、「核実験またはいかなる挑発もこれ以上実施ない」よう求めてきた。北朝鮮がどんな理屈を並べようとも今回の核実験を正当化できるものではない。北朝鮮は、国際社会の一員であるならば安保理決議をただちに受け入れ、一切の核とミサイル開発を即時中止すべきである。そして、朝鮮半島非核化のために誠実に努力すべきである。

同時に、米日韓中露と北朝鮮が参加する「6カ国協議」の再開と問題の平和的解決、朝鮮半島の非核化のため、関係各国が努力することを求める。とりわけ日本政府は、安保関連法による軍事的対応、核抑止力(核の傘)強化による対応ではなく、日本国憲法9条をもつ被爆国として核兵器の全面禁止を提案し、問題の平和的解決の先頭に立つことを要求する。